

## 令和6年4月13日(土)に、「吉間田滝根線広瀬工区」の開通式を執り行いました！

一般県道吉間田滝根線は、いわき市川前町と田村市滝根町を結び、沿線地域の産業、経済及び文化等を支える重要な路線であるとともに、東日本大震災と原子力災害からの復興のため、浜通りと中通りを連結する道路としても重要な役割を担っています。

しかしながら、矢大臣山周辺では急カーブや幅員が狭い区間が連続するほか、法面崩落や積雪による全面通行止めが発生し、安全で円滑な通行に支障をきたしていました。

本事業は、いわき市川前町小白井から、あぶくま高原道路の小野ICに接続する全長9.2kmのバイパスであり、道路利用者の安全で安心な通行確保を図ることはもとより、幹線道路ネットワークの機能強化、双葉地方の復興及び再生を支援することを目的に平成24年度に事業着手し、この度開通を迎えることができました。

開通式は、期待と喜びの中、内堀知事の式辞により開式し、小野町長、田村市長及びいわき市長をはじめとする来賓の方々から祝辞をいただき、その後県中建設事務所長から事業経過報告を行いました。

その後、関係者によるテープカット、くす玉開披が執り行われ、打ち上げ花火の合図とともに関係車両の通り初めが行われました。

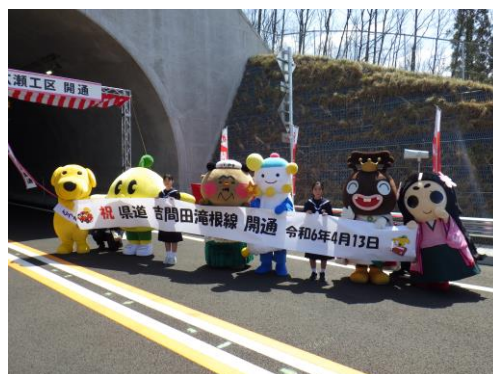
開通式後は、小野町主催による開通記念ウォーキングイベントが開催され、自動車専用道路のため、開通後は徒歩で通行できなくなる小野IC付近の橋梁区間を多くの方が歩く貴重な機会となりました。

15時の一般開放の際は、開通を待ちわびる車両が長蛇の列をつくるなど、本事業への期待と関心の大きさが見られました。

開通により避難されている方々の帰還促進や浜通りと中通りの交流、物流の活性化が図られることが期待されます。

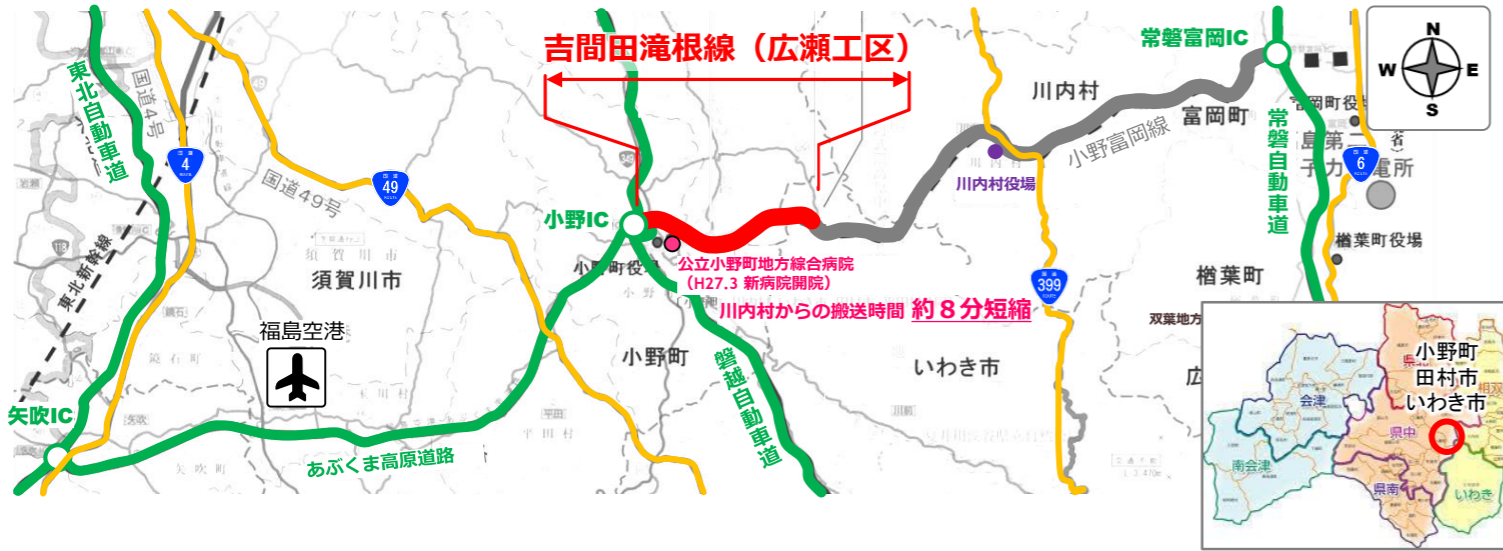


テープカットとくす玉開披の様子



通り初めお見送りの様子

## 位置図



## 平面図



## 事業の概要

- 事業名：交付金事業(道路)(再生・復興) 一般県道吉間田滝根線 広瀬工区
- 事業区間：いわき市川前町小白井～小野町大字小戸神地内
- 事業延長：L=9.2km (自動車専用道路L=2.6km 一般道区間L=6.6km)
- 幅員：W=7.0(10.5)m(自動車専用道路)、W=6.5(9.0)m(一般道区間)
- 道路規格：第1種第3級 設計速度80km/h(自動車専用道路)  
第3種第2級 設計速度60km/h(一般道区間)

## 事業の経緯

～関係者の皆様に支えられ、このたび開通となりました～

- |        |                     |
|--------|---------------------|
| 平成24年度 | 事業着手                |
| 平成28年度 | 国直轄権限代行業業 着手(一般道区間) |
| 平成29年度 | 起工式(国・県合同)          |
| 令和3年度  | 国直轄権限代行業業 完了        |
| 令和6年度  | 供用開始                |

## 事業効果

吉間田滝根線広瀬工区は、福島県復興計画において、小野富岡線とともに「ふくしま復興再生道路」に位置付けられ、浜通りと中通りをつなぐ重要な道路となっています。

広瀬工区は、地域間の連携強化を促進し、交流人口増による地域の発展と、医療・福祉の確保を図ることを目的に、あぶくま高原道路小野ICから小野富岡線までのL=9.2kmの区間を整備しています。

矢大臣山前後の急峻で狭隘な区間や、小野町中心市街地などにおいて、安全で円滑な交通に支障をきたしておりましたが、本事業の完了により浜通り地域及び川内村から県中都市圏、あぶくま高原道路並びに公立小野町地方総合病院への良好なアクセスが形成されます。



＜現道の状況②＞



至 いわき市

## 現場の状況

- ①八反田トンネルは山岳トンネルで主流となっている「NATM(ナトム)工法」により施工しました。
- ②小野IC周辺は6橋の橋梁区間があり、下部工及び上部工の工事間で綿密な工程調整により進捗を図りました。
- ③直轄権限代行業業では、現道拡幅区間や矢大臣山トンネル及び橋梁3橋の主要構造物などが完成しました。



①八反田トンネル 掘削状況



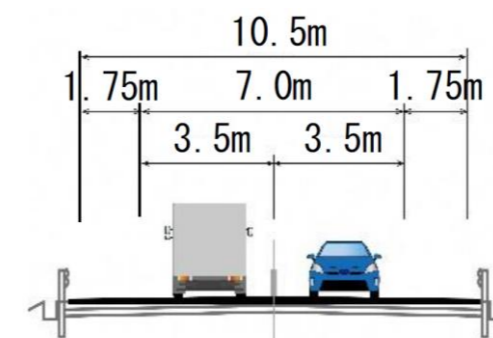
②小野IC 橋梁群の施工状況



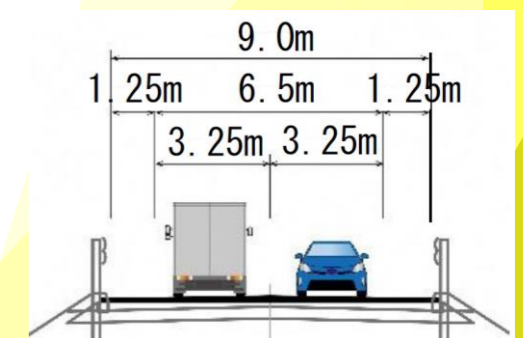
③矢大臣山トンネル 完成状況

## 標準横断面図

### 自動車専用道路区間



### 一般道区間



写真①



写真②



写真③



写真④